

日教弘北海道支部奨励金給付団体

2019年度

*主に「文化・芸術・芸能活動」の分野から選考しました。

順不同・敬称略

団体 (代表者)	活 動 概 要
札幌市書写書道教育研究会 (葛西 孝之)	昭和55年に創立。 「手で文字を書く」文化を時代にあわせて継承していくという理念のもと、地道に活動してきた。研究と事業（席書大会・文字フェスタ）を継続開催するとともに、40周年の節目を超えて児童生徒に「手書き文化」を広める活動を続けている。 奨励金は文字フェスタの開催費用等に活用する予定である。
北海道雨竜高等養護学校 太鼓クラブ (佐藤 史憲)	平成元年に創立。 高等学校の部活動と比べ活動費が十分でない中、障がいのある子どもたちが、太鼓演奏や仲間たちとの交流を通じて、生きる喜びを見つけ、生きがいをもつために活動している。日々、熱心に活動を続けており、地域の文化祭等で演奏を披露し、とても喜ばれている。地域の太鼓グループ(暑寒太鼓)との合同公演を計画している。 奨励金は太鼓の皮の張り替え等、楽器修理費として活用予定である。
岩見沢 茜太鼓 (藤田 勝)	平成13年に創立。 宝くじ助成備品として町内会に太鼓が寄贈されたのを機に、子ども会の活動として和太鼓に取り組み始めた。その後、町内の子だけでなく、中央小学校区の小・中学生に範囲を広げ、異年齢間の交流を進めるとともに地域に根差した活動を行っている。青少年の健全育成や地域社会の向上発展に繋がりたいとの願いを込めながら活動を続け、岩見沢市立中央小学校や同光陵中学校、町内盆踊り、地域の老人ホームなどで演奏し、好評を得ている。 助成金は太鼓の修繕や衣装の更新に活用予定である。
札幌 mommy's プラス (小川 克夫)	平成19年に創立。 中学校や高校の吹奏楽部等で活動していた女性が、やがて結婚し子どもが生まれても吹奏楽を続ける場があれば、という願いから結成された、北海道初の「ママさんバンド」である。子ども連れで（おんぶや抱っこしながら）練習に参加するメンバーも少なくない。母親たちが音楽を通して交流の輪を広げるとともに、年に1回の定期演奏会の他、幼稚園や保育園、小学校等での出張演奏会なども積極的に行っている。 奨励金は打楽器の購入や修理費として活用したい。

【予定】令和3年度 *主に「スポーツ・健康」の分野から選考 (令和3年度の募集をもって終了)